

《肥料の施用方法》

トウモロコシはたくさんの肥料を必要とします。元肥はたっぷり入れましょう。

◎元肥 (1㎡当たり)

おいしい菜園 → 120g

他に…トヨクween(石灰) → 100g

吟遊詩人(バーク堆肥) → 2kg

◎追肥 (1㎡当たりの1回の量)

おいしい菜園 → 30g

※1回目は、間引き(本葉5枚頃)と同時に追肥と土寄せを。2回目は雄穂が出る頃に追肥し、砂地では分けつ株を除去する。大きくならせなければ一株に一本だけ栽培する。

■ポイント■ アブラムシやアワノメイガ等の害虫が付きやすいので、こまめに穂や葉の裏をチェックしましょう!!



この肥料の特徴

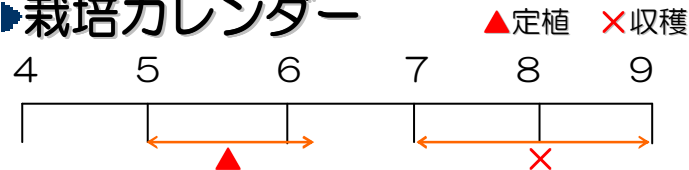
栗のような形状で水に溶いて液肥にもでき、土を荒らさない安心で安全な中性化成肥料。速効性だが元肥・追肥両方に使用できる。

トウモロコシ

▶特徴と栽培のポイント

背が高いとうもろこしは他の野菜の風よけになったり、なす科植物の青枯病(センチュウ)対策にも一役買うなど、畑の守り神のような存在です。又ビタミン・ミネラルをバランスよく含む高エネルギー野菜で、夏場の栄養補給としても最適です。甘味の強いものが好まれています。収穫から一日で甘みが半減してしまうので、ぜひ自家菜園で採れたての甘いスイートコーンを味わってみてください☆

▶栽培カレンダー



オクラと同様25~30℃が発芽適温(地温は13℃以上)。低温・霜・日照不足は、実入りが悪くなるので早まきは避ける。また出穂後の過乾燥は雌穂の肥大を妨げるので夏場はうね間灌水を行う。

実の先端の絹糸が茶褐色になったら収穫可能。一本試し採りし粒に光沢がでていたら収穫適期なので早めに摘み取る。ただし暑い日中は避け朝の涼しい時間帯に収穫する。収穫後は皮はむかずに保存し、甘味が抜けないうちに食す。

《人気の品種》

●ランチャー82

キャンベラに似た粒揃いで、しなびが少ないため店頭での持ちが抜群に良い。柔らかくジューシーで食味が良いのはもちろんのこと、芯が細くて実(粒)が大きいいため食べ応えがある。サラダやコロッケ、ポタージュスープなどの調理や加工にも便利で冷凍保存しやすい。



●おひさまコーン

粒皮が柔らかく甘みが特に強い人気品種。黄色が鮮やかで草丈は高いが倒伏に強い。播種から85日程度で収穫できる中早生種。

●カクテル84EX



穂先まで実がビッシリ詰まりずんぐりとした見た目が特徴的。一般に糖度が低いと言われるバイカラー種(黄白混合)の中ではずば抜けて糖度が高く美味。お子様のおやつにも最高!